

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を掘り下げた話し合い、職員一人ひとりの理解度を高める	具体的なケアについて意見統一を図るように取り組む。	理念をふまえて各棟及び全体の1年間の目標を定め取り組む。3ヶ月1度の達成状況の確認を行う	12 カ月
2	4	運営推進会議の活用。	事業所の組織を明確にし、連携や取り組み等が確実になる	組織を明確にし、意見のあみだげ、意見のひろげ確実に実行。運営に活用し、利用者、家族等にも理解を深めていく。	12 カ月
3	10	家族らの言い出し難い苦情を十分に聞き取りたいのではないかと。	スタッフとの会話で意見を求めるだけでなく気軽に意見を伝える工夫を行い、意見を反映していく。	①面会時等に会話しながら聞き出す ②玄関に意見箱を設置する。 ③毎月出社した意見に対して検討する	①③ 12 カ月 ② 1
4	35	全職員が昼夜を問わず、利用者の避難誘導法を身につける。	全員が、避難誘導法や経路を十分に把握し、身につけいつでも対応できるようにする。	・年2回の防災訓練を行う ・レクリエーションを活用し、利用者と共にシミュレーションを行う。	12 カ月
5	49	日常的な外出や希望にそった外出は十分にほめていない。	帰宅願望による外出以外で、本人の希望外出を支援していく。	・買い物、散歩等に対し外出支援を行う。 ・長時間におよぶ外出、もしくは遠距離、自宅、友人宅などへの外出支援を家族に働きかける	12 カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。